



IWATE BANK NEWS LETTER



2019年4月16日

株式会社 岩手銀行

岩手銀行赤レンガ館「定期イベント」への協賛について

株式会社岩手銀行（頭取 田口幸雄）は、盛岡バッハ・カンタータ・フェライン（指揮者 佐々木正利）が岩手銀行赤レンガ館を会場として主催・演奏する「盛岡バッハ・カンタータ・フェライン レクチャーコンサート『マタイへの旅』」に協賛することといたしました。

盛岡バッハ・カンタータ・フェラインは1977年に発足した J.S. バッハの作品を中心とするドイツ・バロック合唱曲の演奏を行っている地域を代表する合唱団です。赤レンガ館での本イベントは、2020年5月に開催する「マタイ受難曲」全曲演奏会盛岡公演に向けてのレクチャーコンサートと位置付け、地域の方々に気軽にご来場いただき、合唱曲を楽しんでいただくことを目的に開催するものです。これから1年を通して、J.S. バッハ作曲の「マタイ受難曲」を4回に分けて演奏しますので、どうぞ皆さまご鑑賞くださいますよう、お願い申し上げます。

また、この機会に岩手銀行赤レンガ館にお立ち寄りいただき、館内の創建当時の様子が伺える空間をご覧いただくとともに、設計者、岩手の金融史といった岩手銀行赤レンガ館にまつわるさまざまな展示についてもご高覧いただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. イベントの内容

- (1) 名称 : 「盛岡バッハ・カンタータ・フェライン レクチャーコンサート『マタイへの旅』」
- (2) 日時 : 全4回
 - 第1回 2019年4月21日（日）
 - 第2回 2019年5月6日（月・祝）
 - 第3回 2019年9月1日（日）
 - 第4回 2020年3月29日（日）
- (3) 場所 : 岩手銀行赤レンガ館 多目的ホール大 盛岡市中ノ橋通一丁目2番20号
- (4) 開演 : 14:00（開場13:30）
- (5) 入場 : 無料

※詳細につきましては別紙チラシをご覧ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

岩手銀行 総合企画部 広報CSR室 小巖 TEL019-624-8212

岩手銀行赤レンガ館 TEL019-622-1236

岩手銀行

盛岡バッハ・カンタータ・フェライン レクチャーコンサート

2020年5月、東北3県での「マタイ受難曲」全曲演奏会に向けて—

マタイの旅

-全4回-

第1回 2019年	第2回	第3回	第4回 2020年
4月21日	5月6日	9月1日	3月29日
(日)	(月・振休)	(日)	(日)

開場 13:30 開演 14:00 (入場無料)

曲目 J.S.バッハ 作曲
「マタイ受難曲」
BWV244 (4回に分け抜粋)

指揮・解説 佐々木 正利

会場 岩手銀行赤レンガ館 (多目的ホール大)

盛岡市中ノ橋通一丁目2番20号

【バスの場合】 盛岡駅より10分

「盛岡バスセンターななっく前」のバス停で下車
徒歩1分で 岩手銀行赤レンガ館に到着。

【車の場合】 盛岡ICより10分

主催・演奏
盛岡バッハ・カンタータ・フェライン
協賛

岩手銀行

お問い合わせ matthaus2020@mbkv.jp / 019-651-4646 (佐藤)

マタイへの旅

常に音楽に対して真摯で貪欲だったバッハ。当時先進的だった作曲家のブクステフーデから音楽を学ぶために往復約800km、徒歩で旅をしたといわれています。

来る2020年5月の「マタイ受難曲」盛岡公演に向けて、私達盛岡バッハ・カンタータ・フェラインも、バッハに倣い一步一步研鑽を重ね、その成果を発信しながら彼の芸術を共有していきたいと考えました。指揮者を務める佐々木正利先生の解説も交えながらのレクチャーコンサート。瀟洒な岩手銀行赤レンガ館で、私達と「マタイへの旅」をご一緒しましょう。

(代表 茂木容子)

指揮・解説 佐々木正利



盛岡市出身。盛岡一高卒。東京藝術大学音楽学部音楽科卒業。同大学院修士課程及び博士後期課程修了。1979年シュトゥットガルトに渡り、82年までデットモルト北西ドイツ音楽大学に学ぶ。得意の宗教音楽の分野では日本を代表する「バッハ演奏家」として、79年、85年のザルツブルク音楽祭をはじめ、内外で福音史家、テノール・ソロを務めて絶賛されている。合唱指揮者としても、盛岡バッハ・カンタータ・フェライン、岩手大学合唱団、仙台宗教音楽合唱団、東北大学混声合唱団、岡山バッハ・カンタータ協会、オーケストラ・アンサンブル金沢合唱団、東京21合唱団、山響アマテウスコア、熊友会ヴォーカル・アンサンブルなどで指揮者を務め、高く評価されている。第6回ライブツィヒ国際バッハコンクール第5位。二期会バッハ・バロック研究会講師。現在、岩手大学教育学部名誉教授。

盛岡バッハ・カンタータ・フェライン

1977年「カンタータを歌う会」として発足。以来、一貫してJ.S.バッハの作品を中心としたドイツ・バロック合唱曲の研究、演奏を行っている。指揮者、佐々木正利のドイツ・バロック音楽に対する卓越した見識に基づく、熱意溢れる指導により「言葉が生きる」と「音楽が生きる」とは歌の世界では同義語である」という音楽信条が演奏上の身上となっている。ヴィンシャーマン、ロッチュ、マズア、リリング、岩城宏之等世界的指揮者との共演を重ね、ドイツ・バロック音楽を音楽的かつ人間的に表現できる合唱団として熱い評価を得るようになった。2017年に盛岡市民文化ホールで行った「ヨハネ受難曲演奏会」で40周年を迎えた。



合唱出演者募集

盛岡バッハ・カンタータ・フェラインでは、左記演奏会に共に出演する会員を募集しています。合唱・音楽が好きの方、年齢、経験、高校/大学/社会人問わず歓迎いたします。まずはお気軽に見学にお出ください。

◆練習日時：毎週火曜日 午後6:30~9:00

毎月1回日曜日午後1:30~5:00

◆練習場所：内丸教会（毎週火曜日、日曜は不定）

◆お問い合わせ：019-651-4646（佐藤）/mail@mbkv.jp

FB



Twitter



マタイ受難曲 全曲演奏会 盛岡公演

2020年5月6日（水・振休）

岩手県民会館 大ホール

指揮 佐々木正利 管弦楽 山形交響楽団

合唱 盛岡バッハ・カンタータ・フェライン ほか